

事務事業名			勤労青少年ホーム管理事業	目標設定日	平成28年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	勤労青少年ホーム
	政策	02	雇用機会の充実と安定	係	
	施策	02	勤労者福祉の充実	内線電話	8242
予算体系	会計	一般会計			実施計画
	款	5款	労働費	未計上	
	項	1項	労働諸費	実施期間	
	目	3目	勤労青少年ホーム費	平成28年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	勤労青少年	利用者の活動しやすい場として有効に利用していただく。
現状・課題	昭和50年供用開始から39年が経過し、施設の維持補修による持続的管理が必要になる。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市勤労青少年ホーム条例
事務事業概要	勤労青少年ホームの施設の維持・補修を行う。	
平成28年度の活動指標アウトプット	活動内容	
	勤労青少年ホームの管理	

事務インプット	項目		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	予算額	当初予算	円		2,538,000	2,861,000
補正予算		円				-
	合計	円		2,538,000	2,861,000	2,834,000
	決算（見込）額 A	円		2,145,222	2,345,281	-
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		50,000	50,000	50,000
H28は予算額	一般財源	円		2,095,222	2,295,281	2,784,000
職員数	正規職員	人		0.50	0.50	0.50
	嘱託職員	人		0.50	0.50	0.50
	人件費 B	円		4,381,000	4,381,000	4,381,000
	総事業費 A+B	円		6,526,222	6,726,281	7,215,000
	市民1人当たりコスト	円		147	153	165

成果指標	アウトカム	平成26年度	平成27年度	平成28年度
施設利用者数	目標	13,000人	12,000人	11,500人
	成果	11,454人	13,149人	-
	目標			
	成果			-
成果指標と目標値の設定理由	利用者の高年齢化と固定化の現状から逡減傾向だが、貸館としての利用には、継続して利用を見込めるため。			

平成28年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	施設・設備の維持管理に努め、利用者に継続的に利用してもらう。						

